

飯田市農業振興センター

◇令和2年度事業報告

平成30年3月に策定した「飯田市農業振興ビジョン」と本年度の事業計画に沿って事業を展開するとともに、共同事務局会議及び企画委員会を定期開催し、事業の進捗状況の確認及び課題解決に向けた検討を行ってきました。特に重点的な課題については、プロジェクト事業として位置付け、構成団体や関係機関と連携・協力し取り組みを推進してきましたが、新型コロナの影響により、計画通りに事業が実施できなかった年度となりました。

農業の担い手確保・育成事業については、南信州地域の全市町村が参加する「南信州・担い手就農プロデュース（事務局：JA 担い手支援室）」と連携し、WEBによる就農相談会への参加や管内就農相談会を開催するとともに、生産団体や関係機関等と連携した就農相談や就農希望者への住宅・農地等の情報提供等を行いました。

農地を有効活用する事業については、継続的に大豆・そば栽培を支援していますが、年々生産者が減少し、生産量もピーク時と比べて大きく減少しているため、遊休農地対策の視点も含めて今後の栽培支援のあり方等について検討していく必要があります。

地域農業の将来の発展を目指す事業については、新たに「スマート農業研究プロジェクト」を立ち上げ、夏場のハウスの高温対策の一環として、ハウス内環境制御システム等の導入によるキュウリの試験栽培とハウス内環境のモニタリングを実施しました。また、「リニアを見据え農業・地域活性化研究プロジェクト」においては、「農＋食・観光」の視点による地産地消を推進していく新たな組織（南信州地産地消推進協議会）が設立されました。

農業による魅力ある地域づくりを目指す事業については、地区農業振興会議の事業計画に基づく活動や「人・農地プランの実質化」に向けた取組に対して支援を行いました。

広報活動においては、ホームページのリニューアルを行うとともに、農業に関するタイムリーな情報提供を行うため、ホームページやメール、広報「みどりの風」を通じて情報発信を行いました。

各事業の詳細は次のとおりです。

1 農業の担い手確保・育成事業

(1) 担い手確保の取り組み

ア 新規就農者誘致に向けた取り組み

- ・南信州就農相談会〔8/29(土)、3/6(土) 於：JA みなみ信州本所〕 7組 9名
- ・長野県市町村・JA 合同就農相談会〔9/12(土) 於：JR 新宿ミライナタワー (WEB)〕 3組 4名
- ・新・農業人フェア〔2/7(日) 於：東京国際フォーラム (WEB)〕 9組 11名
- ・南信州農業相談会〔2/27(土) WEB〕 5組 6名
- ・就農希望者向けワーキングホリデー（新型コロナの影響により未実施）

イ 農業研修生の就農支援の取り組み

- ・JA 研修生 1名（龍江）、里親研修生 1組 2名（上久堅）への令和3年度の新規就農に向けた支援

- ・農業法人と連携した研修の仕組みづくりのためのヒアリング（14 法人）
- ウ 住宅、農地等の情報収集と情報提供
 - ・地区農業振興会議、結いターン移住定住推進室、生産団体や関係機関等と連携した住宅、農地、農機具、農業施設等の情報収集
 - ・就農希望者への情報提供（住宅 4 名、農地 4 名、農機具名、農業施設 2 件）
- エ お試し住宅等の活用
 - ・新型コロナの影響により利用停止
- オ 就農者等の相談対応
 - ・就農アドバイザーの設置（8 月～） U I ターン者との相談等の対応 20 回

（2）多様な担い手の確保・育成

- ア ワーキングホリデー飯田の取り組み
 - ・新型コロナの影響により春・秋のイベントは中止
 - ・リピーターについては、直近 1 週間の人口 10 万人あたりの新規感染者数が 2.5 人以上の都道府県からの受入れは見合わせ、2.5 人未満の場合は徹底した感染対策を講じ双方合意の上で受入れ（11 月～）
 - ・下伊那農業高校との連携による地域版ワーキングホリデー等の仕組みづくりの検討
- イ 退職後の就農につながる取り組み
 - ・ J A 及び南信州農業支援センター主催の帰農塾の事業協力
- ウ 農繁期の労働力を確保するための取り組み
 - ・市田柿加工講習会〔10/16(金) 於：JA みなみ信州伊賀良支所営農課〕 40 名（スキルアップセミナー 8 名、シルバー人材センター 21 名、一般 11 名）
 - ・市田柿剪定講習会〔1/20(水) 於：飯田市上郷黒田の市田柿圃場〕 40 名（スキルアップセミナー 4 名、シルバー人材センター 15 名、一般 30 名）
 - ・ J A みなみ信州 1 日農業バイト「daywork」試験運用開始（10 月 15 日～）マッチング件数 229 件

（3）若手農業者等研修活動支援 **補助事業**

- ・新規就農者、若手農業者及び認定農業者が、農業経営向上を目的に先進的な営農手法や技術等を取得する活動を支援した。
- 支援件数 1 件/補助金額 11,000 円

（4）農業法人設立支援窓口の設置

- ・法人化に関する相談対応 7 件

2 農地を有効活用する事業

（1）農地再生・活用支援 **補助事業**

- ・地域農業を守るために、地域内の遊休農地や遊休予備農地を活用した農業上の利用及び地域活性化に寄与する取組を支援した。
- 支援件数 6 件/農地面積 73.9a/補助金額 38,000 円

(2) 大豆・そば栽培支援

NPO 法人みどりの風との協働により、大豆・そばの栽培を支援

ア 栽培説明会、巡回指導会の実施

- ・大豆・そば栽培説明会 [3/24(火) 28名]
- ・大豆圃場巡回指導 [10/7(水) 15件]

イ 栽培・刈取り・出荷の支援

- ・大豆「つぶほまれ」の種子購入代金の助成
助成件数 19 件／助成金額 65,520 円 (前年度：21 件／79,625 円)
- ・大豆の種子のとりまとめ、コンバイン利用、出荷に対する支援
大豆利用件数 22 件／面積 318a (前年度：26 件／441a)
そば利用件数 27 件／面積 630a (前年度：31 件／780a)
出荷件数 11 件／出荷量 2,034 kg (前年度：12 件／3,750 kg)

ウ 遊休農地対策としての栽培品目の検討

(3) 遊休農地の管理、発生防止

ア 歩行型草刈機の貸出 (NPO 法人みどりの風との協働)

- ・貸出件数 9 件／利用面積 192.6a (前年度：11 件／318.6a)

イ 遊休化を防ぐための樹園地管理の仕組みづくり

3 地域農業の将来の発展を目指す事業

(1) 市田柿海外輸出推進プロジェクト (H30 設置)

・令和 2 年度輸出実績

7ヶ国：台湾、香港、シンガポール、マレーシア、タイ、カンボジア、アメリカ
53.4 t (R1=45.9t/H30=51.4t/H29=35t/H28=25.6t)

- ・市田柿の新たな消費者層を開拓するため、国内外に料理教室を展開する ABC クッキングスタジオと連携した若年層をターゲットとしたプロモーション・アンケート調査の実施
海外 5 箇所 (台湾・香港・シンガポール・タイ・マレーシア) (1 月)
- ・台湾・シンガポールプロモーションの実施 (1 月)
- ・輸出専用ギフトボックスの開発
- ・イタリア語・ベトナム語 PR パンフレットの制作
- ・三遠南信地域と連携したマレーシアプロモーションの実施 (1 月)
- ・プロジェクト推進会議 [9/16(水)、3/16(火)]

(2) 果樹新技術等研究プロジェクト (R1 設置)

・果樹モデル圃場の設置・管理

- ① 梨モデル圃場 (V 字樹形／座光寺地区／795 m²／平成 31 年 3 月定植)
紋羽病対策を行ったが、生育状況が悪く本年度で中止
- ② 梨モデル圃場 (Y 字樹形／下久堅地区／1,398 m²／令和 2 年 3 月定植)

管理者が主体となりトレリスを設置

③梨モデル圃場（Y字樹形／伊賀良地区／1,360 m²／令和3年3月定植）

④桃モデル圃場（Y字樹形／伊賀良地区／612 m²／令和元年12月定植）

- ・既存梨園の樹勢回復を図るためのジョイント作業 [5/14(木) 伊賀良モデル圃場]
- ・ジョイントモデル圃場での剪定指導 [1/15(金)、3/3(水)]
- ・プロジェクト会議 [4/28(火)、9/29(火)、11/9(月)、2/19(金)]
- ・果樹技術アドバイザーによる新技術導入指導 20回

(3) 稲 WCS 事業研究プロジェクト (R1 設置)

- ・栽培実績

品種	栽培件数	栽培面積	収穫数
食用品種（コシヒカリ）	10 件	174a	106 ロール
専用品種（つきすずか）	9 件	509a	420 ロール
計	19 件	683a	526 ロール

- ・堆肥施用試験、生産コスト抑制検討、嗜好性調査
- ・プロジェクト会議 [4/10(金)、10/8(木)、12/4(金)]

(4) リニアを見据えた農業・地域活性化研究プロジェクト (R1 設置)

- ・南信州地産地消推進協議会（仮称）設立準備会 [11/30(月)]
- ・南信州地産地消推進協議会設立総会 [2/22(月)]
「農＋食・観光」の視点による地産地消の推進

(5) スマート農業研究プロジェクト (新規)

- ・夏場のハウスの高温対策の一環として、ハウス内環境制御システム等の導入によるキュウリの試験栽培とハウス内環境のモニタリング
 - ①スプリンクラー方式細霧冷房（なごみ農園／高森町）
 - ②ハウス内環境制御システム（信州岡島農園／上郷地区）
- ・プロジェクト会議 [5/28(木)、8/21(金)、12/4(金)]

(6) 地元農畜産物の消費拡大の取り組み

- ・「旬の一番料理教室」（飯伊調理師会との共催による地元農畜産物を利用した料理教室）の開催 [10/22(木)、11/12(木)、3/11(木)、3/24(水)]

(7) 地域農業振興活動支援 **補助事業**

- ・新たな作物や栽培技術の導入、6次産業化や地域産物の高付加価値化、ブランド力向上のための取り組み等、農業経営向上や地域農業の振興に資する実践的な取り組み及びリニア時代を見据えた農業による魅力ある地域づくりに取り組む活動を支援した。

支援件数 10 件/補助金 1,218,400 円

4 地区農業振興会議の活動推進事業（農業による魅力ある地域づくり）

（1）地区農業振興会議の活動支援 活動交付金

ア 人・農地プランの推進活動への支援

- ・人・農地プランの推進に関する活動を2回以上取り組んだ地区を支援
- ・人・農地プランの実質化の達成状況 16地区 18集落

16地区 18集落/交付金額 960,000円

イ 地区農業振興会議活動への支援

- ・地区農業振興会議の活動、運営への支援

11地区/交付金額 435,000円

ウ 新規就農者等の誘致に取り組む地域活動への支援

- ・地域自治組織と連携して新規就農者等の誘致に積極的に取り組む地区への支援

1地区/30,000円

5 農業情報を収集・発信する事業

（1）地域営農活動、補助制度、講座案内、農業技術等の情報発信

- ・広報「みどりの風」の発行 12回（組合回覧・ホームページ掲載）
- ・飯田エフエム「IIDA パワー」 4回（6・9・12・3月の第3金曜日放送）
- ・ホームページによる情報発信 11回
- ・飯田市農業情報メール、メール情報みどりの風による情報発信 26回

（2）ホームページリニューアル

- ・URL <http://iida-nougyou.com>（令和3年3月25日完了）
- ・コンテンツ管理システム構築、ホームページの構成変更（デザイン・編集、ページ・画像パーツ作成）

6 農業振興センターの運営

（1）本部会議、企画委員会（4半期に1回）、共同事務局会議（月1回程度）の開催

- ・本部会議：5/12(火)
- ・会計監査：5/1(火)
- ・企画委員会：5/7(木)、7/17(金)、12/10(木)、3/11(木)
- ・共同事務局会議：4/21(火)、6/8(月)、7/3(金)、8/28(金)、10/2(金)、11/18(水)
1/21(木)、3/8(月)

（2）地区農業振興会議正副会長・地区担当者会議の開催

正副会長・担当者会議：6/4(木)